

公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり

ア 新たな阿蘇資産の構築・推進

【事業内容】

本事業は、従来からのエコツーリズム、グリーンツーリズムなどに踏まえ、阿蘇らしい新たな観光ツールづくりを実施するとともに、「食と農、暮らし、景観」をテーマとしたツーリズム活動などを推奨するため「阿蘇エコツーリズム協会」や「阿蘇グリーンツーリズム協会」、関係自治体など多様な関係者と相互に連携し、新たな地域資源の発掘や調査、資料収集を行い、専門家なども招聘した研修やセミナーなどを行うことで、地域の理解を深めながら滞在交流型の仕組みづくりを行い、来訪者にむけた情報発信や体験活動などを提供し、阿蘇の魅力について継続した普及啓発活動を行うものである。

【受益者】

地域の住民及び阿蘇を訪れる不特定多数の人々、及び新たな観光ツール（VR ツアー等）を利用して阿蘇を楽しむ人々。

イ 何度も訪れたい観光地域づくり

【事業内容】

阿蘇地域への観光客の特徴として、リピーター率が高い傾向があり、何度も訪れる中で地域との関係が生まれ、移住につながるケースも見られます。また、SDGsにおいては、「目標11 住み続けられるまちづくりを」の具体的ターゲットとして、都市部と周辺部・農村部が良好につながる必要性が示されている。

本事業は、「何度も訪れる旅、通う旅」（リビジット）に向けて、阿蘇地域の四季折々の表情、個性豊かな地域ごとの魅力、地域の食材を生かした食、訪れるたびに得られる発見・体感など、様々な魅力を活かして、何度も訪れたい観光地域づくりに取り組むものである。

【受益者】

阿蘇くじゅう観光圏を来訪する不特定多数の人々、及び新たな観光ツール（VR ツアー等）を利用して阿蘇を楽しむ人々。

ウ 広域連動型観光まちづくり事業

【事業内容】

本事業は、阿蘇地域を構成する8市町村だけでなく、他県の周辺地域や全国の観光圏との連携を図り、DCの人的ネットワーク等を活用しながら、地域連携DMOとして「広域周遊型の観光まちづくり」の構築・発展を目指すものである。また、合わせてインバウンドの再来を見据え、外国人観光客の受入れに対応できる環境整備に取り組むものである。

【受益者】

阿蘇くじゅう観光圏を来訪する不特定多数の人々、及び新たな観光ツール（VR ツアー等）を利用して阿蘇を楽しむ人々。